

# 社協だより

January 2023

No.113

# Beside you

...あなたのそばに...

## CONTENTS

- P 2 特集  
これからの地域福祉活動を考える
- P 5 掲示板
- P 6 大月市障がい者福祉の会
- P 8 ボランティアだより
- P 10 老人クラブ・老人大学通信
- P 12 我が家のプチ自慢

表紙写真：障がい者福祉の会「社会見学」  
(関連記事P 7をご覧ください。)



社会福祉法人  
大月市社会福祉協議会

第47回  
大月市地域福祉推進大会の開催

11月26日(土) 大月市民会館大ホールにおいて、第47回大月市地域福祉推進大会を開催しました。

地域福祉推進大会は、ここ2年間、新型コロナウイルス感染症の拡大により、大月市総合福祉センターにて表彰式のみを行ってききましたが、今年度は参加者の制限や時間短縮などを含め、感染対策を講じる中、大月市民会館にて開催することができました。

第1部の記念式典では、社会福祉に貢献された皆様方の表彰を行ないました(受賞者はP4のとおりです)。

そして、第2部では、公益財団法人さわやか福祉財団の理事・鶴山芳子氏を講師に迎え、「コロナ禍における地域の支えあい・助けあい活動」〜これからの地域福祉活動を考えるために〜と題した講演をしていただきました。

コロナ禍の中でも、実施方法の変更や工夫等をして積極的に行っている「地域での助けあい・支えあいの活動」の事例を中心とした内容で、大月市におけるこれからの地域でのつながり・支えあいについて、参加者みなで「考え・学ぶ」良い機会となりました。



【写真】第47回大月市地域福祉推進大会(大月市民会館 大ホール)

講演「『コロナ禍における地域の支えあい・助けあい活動』〜これからの地域福祉活動を考えるために〜」

講演では、全国でコロナに負けず頑張っている事例について聞くことができました。

今までの集い型の活動ではない、そこにステイホーム型の活動をミックスした新たな取り組みを実施しているという事例や、コロナ前に誰もが自由に参加できた集いの場所を、「今まで通りあったかい場所であり、誰もコロナに感染させないようにしよう」と何回も会議を開き、ガイドラインを住民自ら作成するなど、感染防止に努めながら新しい集いの場所として再開した事例の話がありました。みんなが「今のままではいけない」「前を向かなければいけない」といった強い想いが伝わってきました。また、多くの人が係わり知恵を出しあうことで、新しい素敵な活動が開けるなど無限の可能性があると感じることもできました。

私たちの街においても、これから活動を再開したり、新たな活動を展開していく際のヒントとなるような内容でした。

最後に『今こそ、つながりが大切と多くの人が実感している。今だからできることがある。住民だからできることがある。多様なつながりが広がることでたくさんのお出番と役割が生まれ、誰もが輝ける心豊かな地域づくりへ』とメッセージをいただきました。

今後の大月市の福祉のあり方を考える

大会後、講演でのお話良かったという声が多く届きました。

今回の大会での「学び」を会場のみで終わらせてはもったいない・・・講演で頂いたお話を、今後の活動にどう活かしていけるかが重要であると考えます。

地域福祉活動計画の大切な5つの働きにもあるように、この話を知らせ・広めて、どう活動に繋げていくか、また活動を評価し改善するところがあれば改善していくというサイクルが必要であり、地域の皆さんと一緒に地域の福祉活動について考えていきたいと思っています。

「何が大切か?必要か?」みんなが「どうしたいか」「どうすれば良いか」など丁寧に話し合っただけで考えていくことが大切ではないかと思えます。

再開している活動も含めて、みんなで考えていきましょう!コロナ禍:そして、その後の新たな生活様式にあった活動を!



## ◎表彰受賞者

(順不同・敬称略)

### ■大月市社会福祉協議会会長表彰

◎民間社会福祉施設・団体役員

・星野 里香 (社会福祉法人 芽生福祉会)

◎民生委員・児童委員

- ・鈴木 龍子 (賑岡町)
- ・矢頭 照子 (賑岡町)
- ・安藤 睦美 (七保町)
- ・落合 敦子 (七保町)
- ・米山 裕子 (七保町)
- ・坂下 長二 (猿橋町)
- ・佐藤 實 (猿橋町)
- ・高橋 明 (猿橋町)
- ・藤本 宙子 (富浜町)

◎社会福祉事業功労者

- ・小俣 公司 (大月地区社会福祉協議会)
- ・小宮 文男 (大月地区社会福祉協議会)

今後も社会福祉の推進・向上に、  
ご理解とご協力をお願い致します

## 掲示板

### 赤い羽根共同募金運動

### 大月東小学校と3地区社協の共同植栽活動 10/14 (金)

毎年、赤い羽根共同募金運動の理解を深める学習活動の一環と植栽活動を通して地域住民の方々との交流を図ることを目的に、大月東小学校の6年生と共同で植栽活動を実施しています。

今年も、児童と地域の方々との交流を楽しみに企画しましたが、コロナ禍ということもあり、児童や参加者の健康面・安全面を考慮して昨年同様、共同作業は中止となりました。児童との共同作業はできませんでしたが、児童の皆さんには「こんな大月になればいいな」という思いを込めたメッセージ付きプランターを学校で作成していただきました。このプランターに、3地区社協(真木・大月・賑岡)の役員さんたちで花の植え付け作業を行い、各地区の商店などに設置させていただきました。



是非、町中で見掛けた際にはきれいな花と児童たちのメッセージに目を向けてみてください。



大月市でも「つながり」を途切れさせない活動が行なわれています！

今回は御太刀地区で行なわれている2か所のサロンでの活動を紹介します

### 地域活動紹介

#### 御太刀 「ひまわり会」

御太刀地区のサロン「ひまわり会」(代表 岡文枝さん)では、会員で90歳を迎えた方に「花」のお祝いと、会員の誕生日に「お赤飯」を持つての訪問を継続的に実施しています。

会員の田中さんと小俣さんにお話を伺うと「コロナ禍で今まで通りのサロンができない中、訪問してくれることは良いことだと思えます。ボランティアの皆さんは熱心にあってくださっていて、こんなにまでしていただき幸せです。長生きしたいと思えます。」と嬉しそうに答えが返ってきました。



▲訪問を受ける田中さんと小俣さん

#### 御太刀 「高月サロン」

御太刀地区の「高月サロン」では、代表者の酒井美代子さんが毎月、手書きのハガキを会員の皆さんに送付しています。

「コロナで集まれないが、「みんなが繋がっているために！」という想いから始めたそうです。

会員さんからは「毎月楽しみにしています。一言だけでも嬉しい」といった声を聞くことができました。

また酒井さんは「皆さんが楽しみにしてくれているので、私も無理なく楽しく継続していきたいです」と話しをしてくれました。



▲送付された素敵なハガキ

### 瀬戸地区

#### 小俣梅子さん 94歳

よりプレゼント♪

瀬戸地区の小俣梅子さんは手芸がとても得意です。ミニデイサービスやサロンの参加者の皆さんへと、バッグ、巾着袋、ポケットティッシュケース等たくさんの手芸品をいただきました。

「皆さんに使ってもらえたらうれしいから」と、日々の楽しみに作っているそうです。素敵な手芸品をありがとうございます。



障がい者理解普及啓発事業

ふれあい映画会「咲(え)む」上映 12 / 3 (土)



12 / 3 ~ 12 / 9 までの1週間は、「障害者週間」。広く障害者の福祉について関心と理解を深め、障害者が、社会、経済、文化などの活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的としています。私達、障害者当事者団体から、啓発、発信を行わなければ！と様々な「障がい者理解普及啓発」事業を実施しています。

映画会は、実に9年ぶりの開催となりましたが、午前・午後の2回の上映に、市内外より大勢のご来場を頂いたことは、この上ない喜びです。地域社会における障害の受容と理解、地域のつながり、家族関係について、参加者一人一人が我が身に置きかえ、思い、考える場面がたくさんあったのではないかと思います。

本来であれば、広い会場で何百人という参加を得るため、お声掛けをしたかったのですが、コロナ対策の為、それが出来ずに残念でした。また今回は視覚障害者や外国人の方に、分かりやすく視聴していただくための音声ガイド「UDキャスト」に対応したことも学びとなりました。

上映後の感想では、「ずっと感動しながら観ていました。もっと多くの皆さんにもご覧いただきたいかった」「家族も地域も、みんながなかよく一緒に生きていければいいんだよね」「聞こえない方も、どんな障害があっても、地域にいる一人の人間として、同じ人として、共に生きる、助け合っていけることが、この社会にとって必要だと感じた」との意見を頂きました。

映画会開催にあたり、ご協力いただきました上映ボランティアの皆様、ご来場くださいました皆様、本当にありがとうございました。また、新規会員の登録を下さった方々もいらっしやいました。今後も大月市の障害者福祉について一緒に考え、活動していきましょう！

3年ぶりの「社会見学」 11 / 6 (日)

毎年6月の第1日曜日に実施していた、皆さんが楽しみにしている社会見学。時期は遅くなりましたが、やっと一堂に会し、出かけることが出来ました。

この事業は、市内に住む障がい児者の社会参加と会員同士の交流を目的に行っています。今年の計画は時短にしよう、という意見もあり、お互い無理をしないようにとの配慮から、山梨県立考古博物館の見学と南アルプス市へ「りんご狩り」。

天気にも恵まれ、青空のもとで考古博物館の見学と古墳の散策、りんご園では柿や梨も美味しくいただくことができました。

なにより、数年ぶりに会う会員同士の「久しぶりだね、元気だった？どうしてた？」という会話が聞かれたことが嬉しかったです。

会員全員の参加ではありませんでしたが、来年はもっと色々なことを気にせず、計画・実施出来たら・・・と願わずにはいられません。

参加者の感想・・・行き先の考古博物館は、小学生以来久しぶりでした。昔の人たちは一人一人が知恵を出し合って生活をしていた様子が分かり、すごい！と思いました。食事は石和びゅうほいで、季節の混ぜご飯と焼肉がとても美味しかったです！もちろんリンゴも♪



▲県立考古博物館にて

# ボランティアだより



▲「火口ってたくさんあるんだねえ〜」

2年間、集まることを自粛していました大月市ボランティア協議会であり  
ますが、昨年3月に富士山ハザードマップが改訂されたというニュースを見  
聞きし、理事や会員の皆さんから「研修には地震のみならず、富士山火山噴  
火についての研修をしては」とのお話を頂いていました。

ということで、富士山火山の研究を進めている「山梨県富士山科学研究所」  
を訪問し、富士山火山防災研究センターの本田 主任研究員から「富士山の  
火山噴火とその災害」と題し、講演をしていただきました。

大月市では、過去の噴火から8000年ほど前に猿橋まで溶岩が達したこ  
とは知られている通り。では、今後噴火するとしたら我が町にはどのような  
影響が想定されるのか、皆さんが心配されており、講演に聞き入りました。  
噴火による溶岩流や噴石、火砕流や泥流、土石流は、火山からの距離により  
心配なさそうではありますが、降灰については風向きによって10cm、30c  
mとなり、被害想定に差があるようです。

講演を聞いた後、施設見学をする内に噴火予知や火口はどうなるのか等  
ますます疑問が膨らみ、美しい富士山が「活火山」であることの認識を新た  
にしました。

### 感想

・富士山噴火の被害想定は漠然としていて、想像の域を出ないものでした。  
大月には溶岩流が達するなど大きな心配要素はないとのことでしたが、被災  
された方、大月へ避難される方々の支援をすることが、私たちに出来る事と  
理解しました。少しでも被害が少なく、小さくなるようお手伝いする気持ち  
と行動力を忘れずにいようと思いました。

・私たちに出来る事は、まず富士山をよく知ること、様々な火山現象を理解  
することです。その上で、大月に住む私たちは避難者の受け入れの援助や、  
降灰による土石流への警戒を怠らないようにすることなど、学ぶことが出来  
ました。

## 手話で自己紹介 「1年前の復習をしてみよう!」

12 / 1 (木)、今年も都留高等学校校定時制の「福祉講話」にうかがい  
ました。昨年は、自己紹介とあいさつお等の50音の手話を知っていたた  
き、今回はその復習を兼ねて学びました。

生徒の皆さんは、昨年の内容を細かく覚えていくくださり、会話も弾  
み質問も飛び交い、相変わらず内容が膨らんでしまいました。楽しく  
学び合うことができました。

今後もこの学びを活かしていきたいとの希望もあることから、次回は  
視覚障害者当事者のこと、生活のことなども学び、生徒の皆さんがふだ  
んの暮らしの中で困っている人に声をかける勇気と知識を身につけられ  
る「福祉教育の場」を提供  
できるようご紹介していき  
たいと思います。



## 書き損じハガキはありませんか?

年賀状やごあいさつの書損じハガキや未使用のはがきが  
残っていませんか?

日本ユネスコ協会連盟(途上国の教育、世界遺産の保全な  
ど)、日本盲導犬協会(盲導犬の育成応援)、など、そのハガ  
キの寄付でいろんな活動を応援することが出来ます。身近な  
モノで出来るボランティア活動を始めてみませんか? ボラン  
ティアセンター(福祉センター)へお持ちください。

Q. どんなはがきが寄付になるの?

A. 未投函の郵政(官製)はがき(書き損じたはがきも、  
未投函であれば寄付になります。古いはがき(年賀は  
がき、かもめーるなど)も寄付になります。



大月市ボランティアセンター  
(大月市社会福祉協議会内)  
大月町花咲10  
(大月市総合福祉センター)  
電話:0554-23-2001

# 大月市老人大学 「第54期生」 募集のお知らせ

楽しいシルバーライフを応援します！

- 募集人数 500名
- 入学資格 市内在住60歳以上の方
- 内 容 サークル学習（年15回程度）、全体学習（講演、音楽鑑賞など年5回）  
遠足と修学旅行（隔年実施）、老大祭（年間成果発表イベント）
- 学習場所 市民会館、総合福祉センター、大月区民会館、桂川ウェルネスパーク
- 学習費用 年額8,000円（申込み時に払い込み）
- 募集期間 **令和5年1月10日（火）～2月17日（金）**までに所属する単位老人クラブの  
会長にお申し込みください（地域に老人クラブの無い方は事務局にお問い合わせく  
ださい）  
\*令和5年4月19日（水） 第54期入学式予定（場所：市民会館）



▲全体学習



▲老人大学秋の遠足

## 【19サークルと充実の講師陣21名（予定）】

園芸部	木原 吉郎	フラダンス部	加イアロハナ大鶴	華道部	芳野 豊子
書道部	望月 大耿	舞踊部	東山 夢静	詩吟部	小林 かつゑ
ダンス部	加藤 幸一	茶道部	天野 宗美	大正琴部	富田 昭二
ダンス部	若野 康子	囲碁・将棋部	小泉 皖司	短歌部	花田 規矩男
社会部	小笠原 博慧	コーラス部	佐々木 加代子	民謡部	今泉 あけみ
手芸部	杉本 まつ子	コーラス部	高島 千香	料理部	加藤 直子
水墨画部	水越 なつ絵	カラオケ部	新海 友也	音楽健康体操部	鯨岡 瑞希

来たれ！ 老大54期生  
入学をお待ちしています！

●お問い合わせ 老人大学事務局 電話23-2001(代)  
(社会福祉協議会内) 黒部・安藤(博)

## 大月市老人クラブ連合会からのお知らせ

大月市老人クラブ連合会では、令和4年度東部地区高齢者作品展の開催に伴い、出品作品を募集します。

- 出品種目 ①日本画 ②洋画 ③彫刻 ④工芸（手芸・陶芸も含む） ⑤書 ⑥写真 ⑦文芸（短歌・俳句・川柳）
- 出品規定 市内在住60歳以上（昭和37年4月1日以前に生まれた方）でアマチュアの方。1年以内に作成したオリジナル作品
- 申込期日 令和5年1月25日（水）

【作品展】  
開催日時 令和5年2月15日（水）～2月17日（金）  
場 所 総合福祉センター 6階 多目的ホール

○問い合わせ 大月市老人クラブ連合会 事務局 黒部  
TEL 23-2001



▲前回の作品展の様子

## 大月市老人大学 秋の遠足

この度、大月市老人大学では学生102名が参加して秋の遠足を実施しました。コロナ禍における遠足でしたが、参加の皆さんはマスク、消毒など感染対策をしながら、楽しいひと時を過ごしました。見学先の「横須賀軍港巡り」では、ガイドさんから「普段より多くの艦船や潜水艦などが停泊している」との説明がありました。

「平和な日本に住んでいると気が付いた」など、学生の会話が聞こえてきました。世界情勢が緊迫していることに、改めて気付かされました。



## 我が家のプチ自慢

鈴木 米子さん（賑岡町・98歳）

ムーくん(マルプー 1歳3ヶ月)



投稿者：鈴木 章さん（賑岡町）  
我が家のプチ自慢、98歳になる米子婆と愛犬のチコです。子供4人孫12人曾孫24人のリーダーです。毎日新聞を全ページ読み週に2回のデイサービスを楽しみにしています。まだまだ元気です。大月市の長寿一番を目指しています。



投稿者：早川和弥さん（大月町）  
撫でるとすぐに「かまってゴロン」てしちゃう甘えん坊でおとなしい男の子です。

### << 編集後記 >>

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、三年振りに大月市民会館で地域福祉推進大会を開催することができ、少しずつ以前の日常に戻ってきていると感じました。今年は、バザーやツキフェスも開催できればいいなと思います。

本年も社協だより「Beside you」をよろしくお願ひ致します。

皆さんにとって、実り多き一年でありますように…。

（総務担当 安藤史江）



ご存じですか？社協のマーク？  
このマークは、社協の「社」を  
図案化し、「手をとりあって、  
明るくあたたかな社会を建設す  
る姿」を表現しています。

この「社会福祉・ボランティアだより」の発行費用の一部は共同募金の配分金が使われております。

### 新コーナー

「我が家のプチ自慢」を募集します！！

みなさんの家のプチ自慢を社協だよりに掲載しませんか？家族、ペット、庭、料理、特技、お宝など、なんでも結構です。みなさんからの応募をお待ちしています。

○応募方法

氏名、住所、連絡先（日中連絡のとれる電話番号）、コメント（50字以内）、写真（画像）をメールで送信してください。メールアドレスは、「我が家のプチ自慢」でお願いします。また、取材に伺うことも可能ですので、ご連絡下さい。

○応募先・問い合わせ先

メールアドレス fureai@otsuki-shakyo.jp

総務担当 TEL 0554-23-2001

今すぐアクセス！

大月市社協

検索

### 事務局

〒401-0015 大月市大月町花咲 10 番地 総合福祉センター 1 階

電話 0554-23-2001 (代) FAX0554-22-2861

心配ごと相談・大月市ボランティアセンター・在宅介護支援センター「花さき相談室」  
介護プラン「花さき」・ヘルパーステーション「花さき」

デイサービスセンター「やまゆり」

〒409-0501 大月市富浜町宮谷 1518 番地 1

電話 0554-20-1130 FAX0554-20-1132